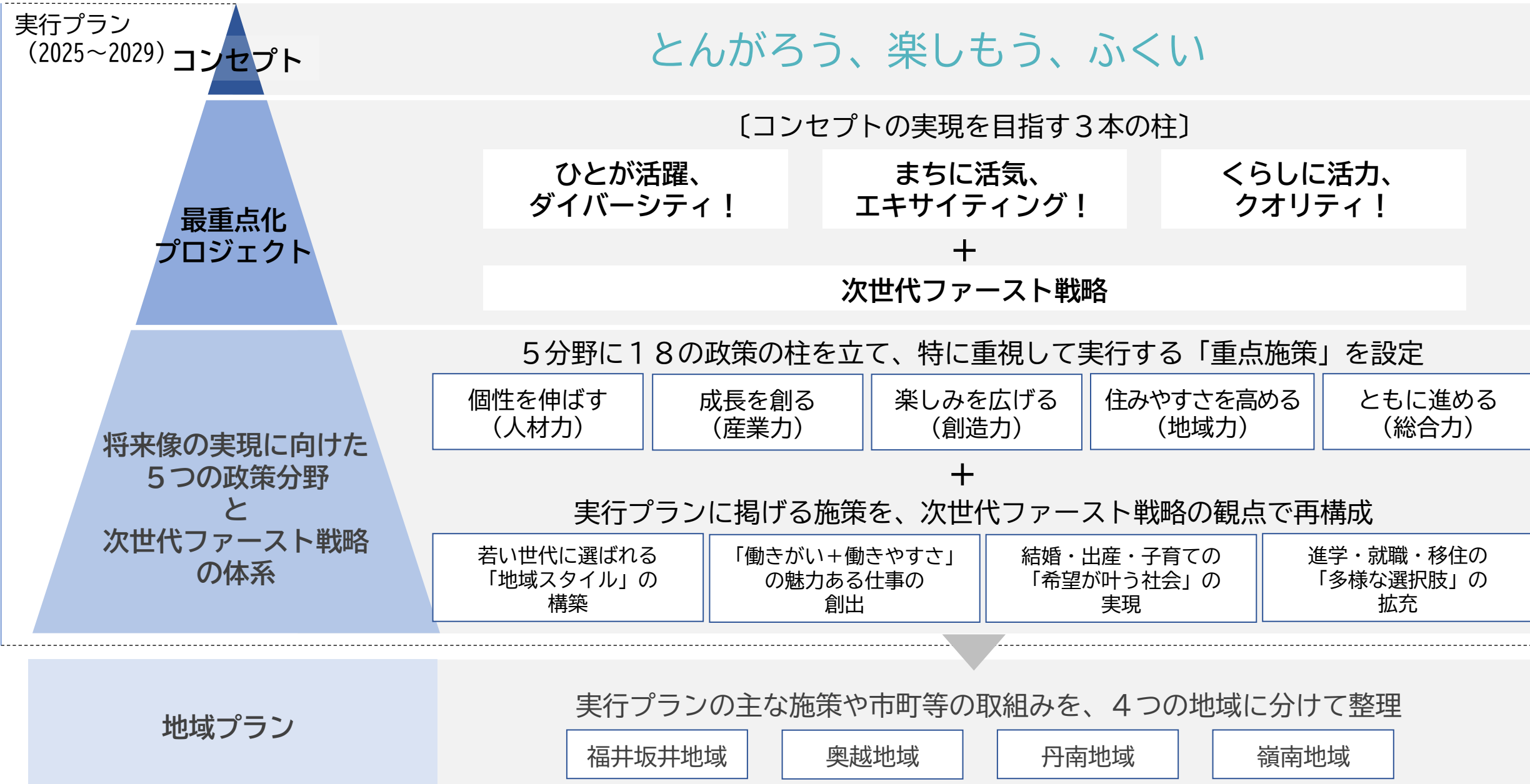


■ 次期「福井県長期ビジョン実行プラン」骨子（案）



- ・北陸新幹線の県内開業により、まちや人の流れに大きな変化が生まれ、未来への可能性が広がる「ふくい新時代」を迎えています。今こそ、地域への自信や愛着を高めながら、前向きなチャレンジを拡大し、福井を「もっと、おもしろく！」する飛躍のチャンスです。
- ・そのためには、誰もが個性や能力を最大限に発揮できる社会であることが欠かせません。若者もシニアも、外国人も、障がいのある方も、誰もが自分らしく過ごせる「安心の居場所」とイキイキと輝ける「活躍の舞台」を持てることが、一人ひとりのチャレンジを後押しし、大きな力を生み出すことにつながります。
- ・幸福度日本一の社会基盤のもと、多様な人材の能力を響き合わせることで、「一人ひとりのチャレンジとまちの進化の好循環」を生み出します。地域の未来への希望をみんなで創ることにより、県民の持続的なしあわせ実感を高め、若い世代からも選ばれる、将来にわたって活力ある「ふくい型ウェルビーイングモデル」(※)の実現を目指します。

※客観的指標により生活基盤の豊かさを表す「幸福度日本一」のうえに、そこに住む人が、自身の活躍や地域・人とのつながり、暮らしやすさの実感など将来にわたる持続的な「主観的幸福感」を感じられる地域モデル

《コンセプト》 とんがろう、楽しもう、ふくい

コンセプトには、県民誰もが自分らしくとんがりながら新たなチャレンジに一步踏み出し、多様な人とつながり応援しあうことで、まちの進化と一人ひとりの活躍を好循環させながら、おもしろい「ふくい新時代」を楽しんでいこうという想いを込めました

- 県民一人ひとりの個性が地域を輝かせる。世代や性別などを超えて互いに交流し、理解しあいながら、若い感性やシニアの経験など多彩な能力を響き合わせ、誰もが自分らしく活躍できる「価値共存社会」を形成



○ 県民総活躍の地域共生の実現

女性の意思決定への参画や外国人との共生など、ダイバーシティ社会の実現。アンコンシャス・バイアスへの気づきを含め、性別、国籍、年齢、障がいの有無に関わらず、個性や能力を発揮し活躍できる社会を形成します。

- ・ 企業や自治会等において、性別による役割分担意識など、可能性を狭める固定観念への気づきを促進
- ・ 在住外国人へのプッシュ型情報提供や複雑な課題への伴走支援
- ・ 障がい者就労支援事業所の相談体制強化などによる障がいを持つ方の活躍応援 など

○ 全世代の活躍と世代を超えたつながりの拡大

つながり助け合う「参加型コミュニティ」を形成。すべての世代にとって幸せな生涯活躍の多様な場づくりを推進するとともに、社会的弱者の視点に立って防災対策の強化や医療福祉の充実に活かします。

- ・ 次世代技術の活用、個別避難計画の策定、自助・共助の促進など、誰ひとり取り残されない防災・減災対策
- ・ 世代を超えて住民が集う居場所づくりやコミュニティソーシャルワーカーの配置
- ・ 在宅ケア提供体制の強化や、シニア世代の活動応援など、次世代型地域包括ケアシステムの推進 など

○ 地域への自信や愛着の醸成

歴史、文化、自然、産業など、「福井らしさ」に触れ、考え、行動する機会を設計。自分のアクションが「地域の未来を創る」と実感できる仕組みを拡大し、地域との関わりと人とのつながりにより、地域への自信や愛着を育みます。

- ・ 地域政策学部（仮）の新設により、6学部6キャンパスの特性を活かした地域連携による県立大学の魅力向上
- ・ 地域との関わりを強化しながら将来の夢や目標に向かって挑戦するきっかけをつくる「ライフデザイン教育」の推進
- ・ 若者・子育て世代のU I ターンのほか、地域と関わって活動・貢献する「恩返しUターン」の拡大 など

- 変化をチャンスにチャレンジを拡大。官民共創のエコシステムで、さらなる観光・まちづくりへの重点投資や新幹線効果の全域波及を加速し、地域の未来への期待感を生み出す「持続的なまちの進化」を創出

○ 新幹線効果の最大化・持続化

新幹線開業や中部縦貫道の整備を追い風に、**観光・まちづくりへの官民投資**を着実に展開。**県内全域への波及効果やワクワク感の増大**に向け、**スポーツ・文化、商店街**を含め、地域の個性を活かした多様な魅力づくりを継続します。

- ・観光地のさらなるレベルアップや上質な宿泊施設の整備支援、インバウンド等の誘客拡大
- ・まち歩きを促す市街地中心部の飲食店などのリニューアルやイベント開催支援
- ・アリーナなど、スポーツや文化芸術を気軽に楽しめる環境づくり
- ・令和13年2月に迎える福井県置県150年に向けた嶺南・嶺北の交流深化 など

○ 官民共創による地域活性化チャレンジの拡大

地元起点のチャレンジの応援や**県外からの投資・プレーヤーの呼び込み**を拡大。官民共創モデルを構築するなど、「チャレンジフィールド」としての魅力を高め、**多様な起業や成長産業立地**を加速します。

- ・ふくいイノベーションオフィスにおける首都圏企業等とのマッチング支援
- ・廃業後の再チャレンジ支援や再起業に向けた伴走支援など、起業支援の拡充
- ・高付加価値企業やオフィス系企業の誘致 など

○ 産業の高付加価値化と基盤強化

脱炭素や資源循環、海外ビジネスの強化など、地域産業の付加価値や成長性を拡大。未来への投資を後押しし、社会的価値と経済成長を両立させ、「**価値づくり産業**」の創出をさらに促進します。

- ・脱炭素化などの社会課題に対応した新ビジネスや成長産業への投資支援など、付加価値づくりの強化
- ・ふくい型林業経営モデルの推進や養殖業の成長産業化、半農半Xなど、農林水産業の付加価値拡大
- ・港湾の新規航路誘致やアメリカ市場等での販路拡大など、ビジネスの海外展開の強化
- ・中部縦貫自動車道、敦賀港など交通・物流インフラの着実な整備 など

■ しあわせ実感日本一のくらしを実現。デジタル技術と人のつながりのベストミックスにより、人口減少社会においてもくらしの質を高め、将来への明るい展望を描ける「しあわせライフスタイル」を実現

○ 幸せを実感できる「都会以上の生活水準」の実現

幸福度日本一の社会基盤のもと、**福井で働き、暮らすことの利便性・快適性・洗練性**をデザイン。地域の絆を大切に、最新技術を活かしながら、暮らしの基盤と満足度がともにトップレベルにある住みやすさ改革を推進します。

- ・ オンライン手続きの拡大やサービス基盤の連携など、生活・行政のDX推進
- ・ 農村型地域運営組織の形成など、豊かな自然環境や農用地の保全活動強化
- ・ 省エネ住宅の普及促進など、脱炭素型ライフスタイルへの転換 など

○ ポジティブ・ライフスタイル社会の構築

若い世代が安心して将来設計を描ける社会の構築。所得向上や暮らし方改革、社会全体での次世代応援等により、仕事・結婚・子育てなど自分らしいライフスタイルにポジティブになれる環境づくりを進めます。

- ・ 短時間正規をはじめとする多様な勤務制度など、働き方改革の拡大
- ・ こども・若者主体の活動への応援や社会全体での子育てサポートの充実など、こども・若者に寄り添う視点で「ふく育県」を拡大
- ・ 仕事、結婚、子育てをしながら「家族時間・ゆとり時間」のある暮らし方改革の実現 など

○ 生活密着サービスの維持向上

医療・介護・保育や農林漁業、建設、交通など、県民の暮らしに密着したサービスの維持向上。**デジタル技術の活用や高度外国人材の育成・確保**、有償ボランティア等により、人手不足への対応とサービス向上に向けた変革を進めます。

- ・ 介護ロボット等の積極的導入や、公共事業におけるICT施工の拡大
- ・ ヘキ地等でのモバイルクリニック導入に向けた医療MaaSの実証
- ・ ミャンマー等での「福井クラス」開催や海外政府機関との連携などによる高度外国人材の確保
- ・ グリーンツーリズムや海業の推進などによる、農山漁村コミュニティの活性化 など

最重点化プロジェクト：次世代ファースト戦略

- 「この場所ならうまくいきそう」という未来の実感。幸福度日本一の基盤のもと、都会以上の生活水準を実現し、多彩な選択肢の中で、次世代を担う若者たちが明るく前向きに成長できる「やりがい」と「居心地の良さ」を追求



基本戦略Ⅰ 若い世代に選ばれる「地域スタイル」の構築

自由で多様な価値観が尊重され、若い世代や女性が自分らしく活躍できる社会を形成。自身のアクションが未来を創る地域との関わりしろをつくり、幼いころから地域への愛着を深めます。

①自由で多様な価値観を楽しむ社会づくり

②未来を切り拓く地域とのつながりづくり

基本戦略Ⅱ 「働きがい+働きやすさ」の魅力ある仕事の創出

若い世代の自発的なチャレンジを応援し、若者や女性の価値観を尊重した働き方に変革。若い世代の所得向上と、誰もが働きがいと家族時間を両立できる職場環境づくりを促進します。

①挑戦と成長を後押しする仕事づくり

②ライフスタイルに寄り添う職場環境づくり

基本戦略Ⅲ 結婚・出産・子育ての「希望が叶う社会」の実現

結婚や出産の希望が叶い、思い描く家族像を実現できるよう、社会全体で応援する機運を醸成。子育て中の家族がその楽しさを実感し、若者がポジティブなイメージをもつ、日本一幸福な子育て県「ふく育県」の魅力を広げます。

①地域と共に育む家族の安心づくり

②子育てで広げる幸せの輪づくり

基本戦略Ⅳ 進学・就職・移住の「多様な選択肢」の拡充

多様な選択肢の中から、地元での進学や就職、U・Iターンを自由に選択できるよう、若者の進路選択を支援し、地域や企業の魅力を積極的に発信。Iターンでも安心して暮らせる環境を整え、移住者にもやさしいまちを形成します。

①ふるさとで描く学びとキャリアの道づくり

②移住者と福井を結ぶサポートづくり

実行プラン・5分野の進捗と課題

○ 現実行プラン4年間の進捗と、県民等の意見を踏まえた次期計画の方向性

※2024年4月末時点 達成率 88.0%（時期未到来除く）

分野	KPI進捗	これまでの進捗	課題や県民からの意見等	今後の取組みの強化ポイント
学びを伸ばす （人材力）	73% (19/26)	・学力・体力トップクラスを維持するとともに、子どもたちの地域や社会に貢献したい気持ちが向上 ・第2子以降の保育料無償化など子育て支援策が充実した一方、合計特殊出生率の改善には至っていない	・進学や就職の選択肢の拡充 ・性別による役割分担意識などアンコンシャス・バイアスへの気づき ・自分らしく過ごせる「居場所」や活躍の「舞台」の拡大 ・子育ての幸せや楽しさの実感	・自らと福井の将来につなげる学びや個性が尊重される学びの推進 ・積極的に地域に貢献する人材の育成 ・ダイバーシティ社会に向けた意識改革 ・こどもや若者目線も踏まえた「ふく育県」の進化
成長を創る （産業力）	54% (13/24)	・園芸カレッジやスタートアップ支援など起業や新たなチャレンジの後押しを充実させ、創業者数や新規就農者数が増加 ・一方、米・園芸の産出額は、全国的な米価下落の影響もあり、伸びていない	・地元起点のチャレンジ応援 ・脱炭素など社会的課題への対応 ・介護、保育、交通等の人材確保 ・県産品の輸出拡大など、世界市場の取込み	・社会課題解決を目指すスタートアップ支援の拡大 ・サーキュラーエコノミーへの対応 ・外国人材の育成やサポート体制の強化 ・ターゲット市場ごとの個別戦略
楽しさを広げる （創造力）	50% (9/18)	・県外事務所の開設や移住サポーターによる移住相談体制の強化などにより、新ふくい人は毎年過去最高を更新 ・観光面ではコロナ禍における渡航制限等により、インバウンド観光は大きく後退	・新幹線効果の持続化、県内全域への波及 ・嶺南と嶺北の交流拡大 ・中部縦貫自動車道など高速ネットワークの拡充 ・UIターンの拡大	・観光まちづくりへの官民投資の持続化 ・嶺南嶺北の文化交流の促進 ・高速交通網等インフラの着実な整備進展 ・高校卒業前から福井とつながり続ける仕組みづくり
安心を高める （地域力）	78% (18/23)	・安心の暮らしを守る河川改修等のインフラ整備は概ね計画どおり進捗 ・歩数や食塩摂取量など生活習慣に関する指標は悪化 ・温暖化対策を意識した節電や、一般ごみの削減といった環境への配慮は不十分	・高齢化に伴う要介護者数の増加への備え ・シニア世代の豊かな社会経験の活用や生きがいがづくり ・豊かで美しい自然環境の保全 ・社会的弱者の視点も踏まえた災害対応等	・歩行や省塩など、若いうちからの生活習慣の改善 ・シニア世代の活躍の場の拡大 ・カーボンニュートラルの推進 ・社会的弱者の視点も踏まえた災害対応や医療福祉の充実
ともに進める （総合力）	100% (7/ 7)	・健全な財政運営を実現 ・北陸新幹線沿線自治体との連携協定など、他自治体との協働によるプロモーション等を展開	・コストや人的・物的リソースの共通化	・引き続き市町協働や広域連携による総合力の発揮

※進捗率は、概ね達成している指標数／KPI設定数。（ ）内は、分子／分母それぞれの指標数

次期・長期ビジョン実行プラン骨子（案）

分 野	方向性
個性を伸ばす （人材力） ふくい人は人が宝。 地域を支え、未来を創造する人材の育成	福井の人材力を最大の武器に。心豊かで個性にあふれ、ふるさとを愛し、自らの可能性に挑戦し未来を切り拓く人材を育成します。また、誰もが <u>安心の「居場所」と活躍の「舞台」</u> をもてる、寛容性の高い共生社会を目指します。
成長を創る （産業力） 力強い産業基盤の確立。 チャレンジできる地域経済の構築	新たなことに挑戦し、可能性が広がる地域経済に。 <u>社会課題の解決や持続可能性の実現</u> など福井から世界へ羽ばたく挑戦を後押しし、 <u>働きがいと働きやすさを両立</u> しながら、活気と好循環の地域経済を目指します。
楽しみを広げる （創造力） 多彩な魅力で交流拡大。 交通新時代の活力の創出	<u>新幹線効果を最大化・持続化</u> し、持続的な賑わいを地域の力に。深みのある歴史・文化・自然や、 <u>心身を豊かにするスポーツ・芸術を活かし</u> 、福井ならではの魅力と楽しみを創り出し、ワクワクと活力あふれるまちを目指します。
住みやすさを高める （地域力） 人生100年時代を充実させる 「健幸文化」の創造。 くらしを守る安全・安心	人生100年時代を幸せに。生涯健康であることを志向する「健幸文化」を育むとともに、 <u>全世代の生きがいづくりを応援</u> します。また、 <u>一人ひとりに寄り添った医療・福祉・防災等を充実</u> させ、安心して暮らせる地域を目指します。
ともに進める （総合力） 協働による県民主役の県政。 外に開き連携強化	徹底現場主義による県民主役の県政実現。県民・企業・団体・市町など「チームふくい」が一丸となり行動するとともに、県境を越える広域連携を強化し、将来像の実現を目指します。

次期・長期ビジョン実行プラン骨子（案）

	政策	重点施策
個性を伸ばす （人材力）	1 子どもが主役の「夢と希望」、 「ふくい愛」を育む教育の推進 子ども一人ひとりの個性を「引き出す教育」や、 学びを「楽しむ教育」、郷土の歴史等とつながり 学ぶ「ふるさと教育」を進め、 <u>子ども一人ひとりを大切にする「子どもが主役の教育」</u> を推進	◎ 子どもが主役の教育プロジェクト ●自らと福井の将来につなげる学びの推進 ・人生100年時代を見据えた <u>自らの将来を思い描く力</u> の育成、 <u>「ライフデザイン教育」</u> の推進 ・子どもの能力や習熟度に合わせた、デジタル技術等の活用による <u>個別最適な学びと協働的な学び</u> の充実 ・共感性・対話力を高める <u>プレゼンテーション教育</u> 、多文化共生社会に向けた <u>グローバル教育</u> の推進 ●誰一人取り残されず、個性が尊重される学びの推進 ・「校内サポートルーム」等の <u>多様な居場所づくり</u> 、医療・福祉分野との連携強化 ・特別支援学校が地域とつながる <u>インクルーシブ教育</u> の推進、外国人など <u>多様性に応じた学び</u> の推進 など
	2 ふくいの未来を創る人材育成 学びの環境の充実・整備により、 <u>積極的に福井を良くしたいと考える人材、生涯活躍・成長を続け、ふくいの未来を創る人材</u> を育成	◎ ふくい未来育成プロジェクト ●積極的に地域に貢献する人材の育成 ・新学部開設など <u>県内大学の魅力向上、経済的支援、大学連携の強化</u> などにより県内進学を応援 ・ <u>新たな入試枠・教育プログラムの創設</u> などにより県内進学・県内就職を応援 ●生涯活躍・成長を続ける人材の育成 ・福井の目指す将来像や魅力について学び、郷土に対する理解を深める講座等を実施 など
	3 個性や能力を育み、活かす 「ダイバーシティふくい」の実現 多様な価値観や考え方を認めあう寛容な社会を実現するとともに、性別や年齢、国籍、障がいの有無に関わらず、 <u>一人ひとりが自分らしく活躍できる県民総活躍社会</u> を実現	◎ 「居場所」と「舞台」拡大プロジェクト ●多様な価値観が認められ、誰もが自分らしく生きられる寛容な社会の実現 ・地域に根付く固定的な価値観など <u>アンコンシャス・バイアスへの気づき</u> と相互理解の促進 ・在住外国人への <u>プッシュ型情報提供</u> や複雑な課題への伴走支援 ●県民一人ひとりが個性と能力を発揮できる県民総活躍社会の実現 ・女性の採用・育成・登用などに積極的に取り組む企業の後押しや <u>女性のキャリア形成支援</u> の拡大 ・新しい感覚と発想を持って地域で活動する若者の育成や <u>チャレンジを発表する場</u> の拡大 など
	4 こども・子育ての“よろこび”を 次世代につなぐ「ふく育県」の推進 家庭や地域のつながりを大切にする福井らしい子育て環境のもと、こども・若者や子育て世代一人ひとりの多様な夢や希望が叶う社会づくりを進め、 <u>社会全体でこどもの“よろこび”・子育ての“よろこび”を共有し、次世代につなぐ「ふく育県」</u> を実現	◎ 次世代につなぐ「ふく育県」プロジェクト ●一人ひとりに寄り添い、安心の子育て環境を確保する「 <u>ふく育安心モデル</u> 」の実現 ・ <u>ひとり親や多胎児、医療的ケア</u> など多様な家庭環境に応じた支援、安心できる <u>居場所づくり</u> への支援 ・保育士・ふく育さんなど <u>子育てサービスの担い手確保</u> 、産後訪問や見守り活動など <u>アウトリーチ型の支援</u> ●こども・若者の夢や希望を応援し、幸せ実感を高める「 <u>ふく育希望モデル</u> 」の実現 ・ <u>若者の恋愛機運の醸成、こども・若者主体の活動</u> や支援団体等を応援、 <u>プレコンセプションケア</u> への支援 ●社会全体でこども・子育てを応援し、子育てのワクワク感を高める「 <u>ふく育共感モデル</u> 」の実現 ・ <u>市民主体の“ふく育”イベントをつなぎ、情報発信で応援・男性育休、時短勤務</u> など仕事と家庭の両立支援 ・ <u>福井県児童科学館の「ふく育県」シンボル</u> としての今後のあり方を検討 など

次期・長期ビジョン実行プラン骨子（案）

	政策	重点施策
成長を創る（産業力）	5 稼げる農林水産業で農山漁村の活性化 水稲、園芸、畜産、林業等における <u>様々なプレイヤーの育成</u> とともに、新幹線等により新たに福井を訪れる人や県民も巻き込みながら、ふくい農林水産業の長所と <u>農山漁村の魅力をさらに伸ばす</u>	◎ 農林水産業の成長産業化プロジェクト ●稼げる農林水産業の実現 ・売上1億円超の <u>リーディングファーム</u> など、農林水産業の大規模経営モデルの育成 ・園芸カレッジや <u>第2園芸カレッジ</u> で育成した人材により、園芸タウンを拡大 ●農山漁村コミュニティの維持 ・ <u>半農（林・漁）半X</u> など多様なライフスタイルの提案 ・ <u>救援隊</u> による集落営農組織の活性化と、 <u>農村RMO</u> の形成や <u>海業</u> の推進 など
	6 新ビジネス創出、チャレンジフィールドふくいの推進 北陸新幹線開業により企業や人材の交流が拡大している機を捉え、 <u>地域企業と県内外のプレイヤーとの共創</u> により、社会課題の解決や新たな価値の創出に取り組む「 <u>福井型エコシステム</u> 」を充実・強化	◎ 「福井型スタートアップエコシステム2.0」推進プロジェクト ●地域のスタートアップ創出 ・地域課題を解決する <u>ローカルスタートアップ</u> や成長が期待される <u>大学発スタートアップ</u> を支援する新たな仕組みを創設 ●全国のスタートアップとの共創 ・「ふくいイノベーションオフィス」において、 <u>県内外のスタートアップや様々な専門人材と県内企業が一緒に価値づくりに取り組む共創コミュニティ</u> を構築・運営 ●セーフティーネットの構築 ・再チャレンジする際の課題を把握し、 <u>積極的に起業にチャレンジできる支援制度</u> を創設 など
	7 未来志向型の産業革新 ふくいの地域産業が蓄積してきた独自技術を発展させ、将来を支える <u>新たな価値を生み出す技術開発</u> を推進するとともに、社会経済情勢の変化に対応する <u>持続可能な地域産業を確立</u>	◎ 持続可能な「未来創造産業」創出プロジェクト ●サーキュラーエコノミーに対応した脱炭素技術の開発 ・ <u>廃棄繊維を新しい繊維に戻すリサイクル技術</u> など社会的課題の解決に向けた研究の促進 ●国内を代表する宇宙産業の拠点形成 ・超小型人工衛星の <u>開発、評価試験、運用まで対応できる研究体制の整備</u> や、 <u>量産体制</u> の確立 ●産学官連携による高度理系人材の育成 ・プロジェクト研究への大学生や若手企業人材の参画により、即戦力等になる理系人材を輩出 など
	8 世界と交わる、ふくいの人・モノ・情報の拡大 世界市場につながる <u>ネットワークの充実・強化</u> を図り、海外との人・モノ・情報の往来を活発化。また、世界市場を取り込むべく、 <u>グローバル人材の育成・就労機会の拡大</u>	◎ DISCOVER FUKUIプロジェクト ●福井の食・伝統工芸・技術を重点エリアから波及（インフルエンス）させる方策で発信 ・北陸3県が連携し、海外での展示会出展など、食のプロモーション活動を実施 ・アメリカ（伝統工芸）、欧州（モノづくり・技術）などターゲットエリアに個々の戦略を立て販路拡大 ●福井で働きたい外国人材の育成と働きたいと思えるサポート体制の充実 ・海外人材育成機関と連携し、福井で働きたい人材の育成・就労を拡大 ・ <u>福井で暮らし、働く人が安心・安全に暮らし続けるためのサポート体制</u> を充実 など

次期・長期ビジョン実行プラン骨子（案）

楽しみを広げる（創造力）

政策

重点施策

9 北陸新幹線効果を最大化・持続化

北陸新幹線開業による賑わいを一過性のものとせず、今後の中部縦貫自動車道県内全線開通によるさらなるアクセス向上なども見据え、観光地としての価値を今以上に引き上げるとともに、人材育成や投資の促進により将来にわたり持続可能な観光地づくりを推進

10 交流を広げる基盤整備

北陸新幹線や中部縦貫自動車道などの高速交通・物流ネットワークの整備により、県内外との交流を拡大する県境フロンティア政策を推進。また、交流の拡大に合わせ、官民連携によるまちづくりや持続可能な二次交通の整備を促進

11 いつでもウェルカム、 ふくい型移住・定住スタイルの構築

UIターン、県内定着支援を強化し、関係人口の拡大や多様な福井との「関わり」から、地域とのつながりや県外に出た人とつながり続ける仕組みを構築。また、北陸三県や新幹線沿線県と連携してIターン促進を図る

12 楽しみと創造力を育む 文化芸術・スポーツ力の強化

県民が文化芸術に触れ、楽しみ、自ら創造・発信する主体的な活動を応援。スポーツを通じて県民誰もが夢や感動を共有し、健康で豊かな人生を送りしあわせを実感できる社会を実現

◎ ふくいの観光誘客拡大プロジェクト

- 未来につながる持続可能な観光地づくり
 - ・旅の目的となる上質な宿の整備支援、オーベルジュ・ホテル誘致など宿泊施設の充実
 - ・地域の観光を戦略的に牽引するリーダーやプレーヤーの育成、AIを活用したビッグデータの分析
 - ・ナイトミュージアムなど、民間事業者と連携し、恐竜博物館の魅力を向上
- 中京圏・関西圏等からの誘客強化
 - ・中京圏のロードサイド店舗等での誘客イベントやNEXCOと連携したお得なドライブプランの販売等
 - ・JR西日本グループと連携し、万博を訪れた観光客を福井県へ誘客する企画きっぷ、旅行商品の販売 など

◎ モビリティ新ネットワーク形成プロジェクト

- 高速交通・物流ネットワークの整備促進
 - ・北陸新幹線小浜京都ルート[※]の整備促進
 - ・中部縦貫自動車道など高規格道路や敦賀港（複合一貫輸送ターミナル）の整備、福井空港の再整備
- 持続可能な公共交通ネットワークの構築
 - ・ライドシェアや自動運転など、地域の実情に応じたモビリティ導入促進 など

◎ ふくいつながり拡大プロジェクト

- 高校から子育てまでつながり続けるUターン支援
 - ・DXを活用した切れ目ない県内若者Uターン支援のプラットフォームの構築
 - ・都市部での就職支援協定校拡大と北陸三県一体となったUIターン就活支援
- 「選ばれるふくい」の移住定住政策
 - ・子育てを機に都市部の方がふくいの幸福度、温かさを体験、実感できる育職（食）住を一体的にアピール
 - ・新幹線開業を追い風に沿線県や北陸三県連携による移住イベントを展開
 - ・伴走支援とネットワーク強化による地域おこし協力隊員の採用拡大と定着支援 など

◎ 文化芸術・スポーツによる幸せ向上プロジェクト

- 県民主体の文化芸術活動を応援
 - ・日本の文化芸術をリードする専門家による相談・助言・マッチング等を通じて県民の主体的、継続的な活動への支援を強化
- ライフステージに応じた多様なスポーツ活動の推進や競技力向上、スポーツによる地域活性化
 - ・「福井県スポーツコミッション」を軸としたスポーツによる交流人口拡大・地域活性化。女性や「働き盛り・子育て世代」のスポーツ機会を創出。トップアスリートのUIターン・競技活動の推進 など

次期・長期ビジョン実行プラン骨子（案）

	政策	重点施策
住みやすさを高める（地域力）	13 人生100年時代の充実生活応援 人生100年時代に備え、生涯を通じて心身ともに健やかにいきいきと暮らすため、 <u>若いうちから生活習慣を改善</u> するなど健康寿命のさらなる延伸を目指すとともに、若者からシニア世代まで <u>すべての世代のチャレンジ、地域での活躍</u> を応援	◎ 全世代のいきいき活躍応援プロジェクト ●「歩いて健康維持」と「適切な食塩摂取」（<u>省塩</u>）による生活習慣改善 ・アプリなどを活用し、<u>日常生活の中で</u>手軽に取り組みやすい<u>歩行の習慣づけ</u> ・ガイドブックや試食等を通じた<u>省塩の意識づけ</u>、<u>省塩商品の開発・利用拡大</u>による食環境づくり ●すべての世代の活躍の場の創出 ・居場所づくり、生きがいづくり等、シニアグループの新たな活動「<u>シニアチャレンジ</u>」支援 ・シニアの技能・経験と就労・ボランティアニーズをマッチング、「<u>モザイク型就労</u>」の拡充 など
	14 誰も取り残されない 安心の医療・介護・福祉の充実 地域医療を取り巻く環境変化を踏まえ、 <u>医療・介護・福祉が連携し役割分担を進めた</u> 地域包括ケアシステム体制を構築。地域福祉の担い手のつながりや居場所づくりを支援し、 <u>共助を活性化</u> させ、住民の福祉ニーズに支援を行き届ける	◎ 医療・介護・福祉のトータルケア推進プロジェクト ●支援が届きにくい地域住民への支援体制の強化 ・民生委員、老人家庭相談員など<u>地域福祉の担い手の連携強化</u>（コミュニティソーシャルワーカーの配置） ●強度行動障がい児者、医療的ケア児者への支援充実 ・専門チームの派遣や受入れ可能事業所の拡大などによる支援体制強化 ●「医療・介護DX」による医療の質の向上・介護の生産性向上 ・へき地等における<u>医療Maasの導入</u>に向けた実証 など
	15 次世代につなぐ 豊かで美しいふくいの環境の保全 2050年のカーボンニュートラルに向けて、 <u>エネルギー源の転換や再生可能エネルギーの導入</u> を進めるほか、 <u>自然と共生する社会づくりや自然環境の保全、循環型社会の推進</u> を進め、福井の環境の豊かさと美しさを守り育て、次世代につなげる	◎ カーボンニュートラルふくい実現プロジェクト ●温室効果ガス排出量49%削減に向けた実践 ・<u>エネルギー源の転換や省エネの推進、再生可能エネルギーの導入拡大</u> ●脱炭素化に資する「価値づくり」への挑戦 ・脱炭素関連技術の技術開発支援 ●スマートエリアの形成、嶺南地域におけるエネルギー関連産業の育成・新産業創出 ・<u>スマートエリアの整備</u>や農林水産業のスマート化 ●気候変動「適応策」の推進 ・県気候変動適応センターによる普及啓発、暑さに強い水稻品種の開発や熱中症対策 など
	16 暮らしの安全安心の向上 頻発・激甚化する自然災害に対し、 <u>つながり助け合う参加型コミュニティを形成</u> しながら、自助・共助の力を高めるとともに、 <u>県土強靱化を推進</u> し、万全の備えを期す。また、犯罪や事故等に巻き込まれない安心して暮らせる社会を実現	◎ 一人ひとりの安全安心向上プロジェクト ●地域一体で進める防災力の強化 ・大規模災害時に情報収集や避難所運営等を行う大規模災害団員の確保支援 ・<u>流通備蓄の仕組みを導入</u>した備蓄物資の確保 ●県土強靱化の推進 ・河川やダム、砂防堰堤、雨水貯留施設の整備等による治水・土砂災害対策など事前防災対策の推進 ・「<u>予防保全</u>」の考え方に基づくインフラの計画的な補修 ・能登半島地震を踏まえた<u>上下水道や木造住宅の耐震化</u> など

次期・長期ビジョン実行プラン骨子（案）

	政策	重点施策
ともに進める （総合力）	17 「チームふくい」の行政運営 未来の県政を担う人材の確保・育成と、組織力強化により、安定かつ効率的な組織基盤を築くとともに、 官民共創により県政の推進体制を強化 し、チームふくいで県民主役の県政を実現する行財政改革を実行	◎ 官民共創による行政サービス向上プロジェクト ●官民がつながり、チームふくいを実現する県庁 ・民間や市町参加型のタスクフォースや人材バンク機能の検討など、官民共創・市町協働の強化 ・アナログ規制の見直しやデジタル広報など便利でやさしいDXの推進による、県民とのつながり創出 ●多様な人材が集まり、育ち、躍動する県庁 ・県庁内外で様々な経験を得て業務に活かす仕組みづくりなど、主体的に成長し、自らキャリアを創造できる人材の育成 ・フリーアドレスやフレックスタイム制など場所や時間、既成概念にとらわれない次世代の働き方改革 ●連帯感、効率性、生産性を高め、チャレンジが生まれる県庁 ・デジタル前提の業務改善の徹底や、ジョブシェア制度の導入など効率性や生産性の向上 ・県有資産マネジメントの推進や健全財政の堅持 など
	18 広域パートナーシップの強化 北陸新幹線や中部縦貫自動車道など高速交通網の整備に伴い、増加が見込まれる人・モノ・情報の交流促進をはじめ、広域的な医療体制の整備や激甚化・大規模化する災害への対応力を強化するため、 県境を越えた緊密な連携体制 を構築	◎ 地方連携による基盤整備・防災力強化プロジェクト ●北陸新幹線、中部縦貫自動車道など高速交通網の整備促進 ・北陸新幹線小浜京都ルート of 早期全線開業や中部縦貫自動車道大野油坂道路の一日も早い全線開通に向け、沿線関係者ととともに政府・与党に強く要請 ●広域連携の強化による大規模災害への対応力強化 ・能登半島地震などの大規模災害における教訓を活かし、広域防災訓練の実施や応援職員・災害ボランティア派遣など、県域を越えた連携体制の構築 ・北陸三県連携による防災士の交流や、防災訓練への相互参加 など

次世代ファースト社会の実現に向けた取り組み

基本戦略Ⅰ 若い世代に選ばれる「地域スタイル」の構築

◆ 自由で多様な価値観を楽しむ社会づくり

- ・ 家庭、職場、地域でのアンコンシャス・バイアスへの気づきと理解の促進
- ・ 県内で活躍する若者や女性のロールモデル発掘・発信の強化
- ・ 共家事・ラク家事促進によるゆとり時間の創出
- ・ 自らの考えや念いを伝えるプレゼンテーション教育など対話力・共感力を育む学びの充実
- ・ 経営者等が若者を応援する仕組みを構築、若者の新たなチャレンジを応援
- ・ 地域貢献に意欲的な新たなプレイヤーの呼び込み
- ・ 人権意識の啓発（LGBT等） など

◆ 未来を切り拓く地域とのつながりづくり

- ・ 地域を学び、地域の魅力に気付くふるさと教育の推進
- ・ ふくいの未来と地域政策を考える地域デザイン講座の推進
- ・ 新しい感覚と発想を持って地域で活動する若者の育成
- ・ SNSを活用したやってみたいを実践に繋げる社会貢献活動の情報発信
- ・ 短期間のボランティア体験プログラム
- ・ 地域おこし協力隊と連携した地域コミュニティの盛上げ
- ・ 「千年文化」を学び発信する県民参加型イベントの開催 など

基本戦略Ⅱ 「働きがい+働きやすさ」の魅力ある仕事の創出

◆ 挑戦と成長を後押しする仕事づくり

- ・ スタートアップとの共創により県内企業の新しい価値づくりを促進
- ・ プロジェクト研究を通じた自律できる高度理系人材の育成
- ・ グローバル人材の育成
- ・ 何度でも起業に積極的にチャレンジできるセーフティネットの構築
- ・ 産総研北陸センターなど官民連携を通じた新たな産業の創出
- ・ デジタルを用いた業務改善や販路開拓、新製品・新サービスの創出支援
- ・ 宇宙産業やウェルビーイング産業の拡大
- ・ 働く女性のキャリアアップ支援
- ・ 付加価値の高い企業の誘致、受け皿となる産業団地の整備 など

◆ ライフスタイルに寄り添う職場環境づくり

- ・ 時短勤務やテレワークなど、多様な働き方を促進
- ・ 短時間正社員、フレックスタイム制の導入促進
- ・ 県内企業の給与水準の引き上げ
- ・ 給与、待遇、雇用形態等のジェンダーギャップの解消
- ・ リスキリングや職業訓練の充実
- ・ 女性が働きやすい環境づくりや登用を進める企業を応援
- ・ 県内で働く男性が育児休業を取得しやすい職場環境を整備 など

次世代ファースト社会の実現に向けた取り組み

基本戦略Ⅲ 結婚・出産・子育ての「希望が叶う社会」の実現

◆ 地域と共に育む家族の安心づくり

- ・ こども・若者や子育て世代への**伴走的な支援**に取り組む団体への応援
- ・ 家庭でも学校でもない安心できる**多様な居場所づくり**への支援
- ・ ひとり親、多胎児、医療的ケアなど**様々な家庭環境**に応じた支援の充実
- ・ **保育人材確保**と教育・保育の質の向上
- ・ 民生・児童委員やアクティブシニア層、外国人県民など**地域の担い手**による活動支援
- ・ 様々な子育て世帯をサポートする「**ふく育さん**」・「**ふく育タクシー**」の利用支援や「**すみずみ子育てサポート事業**」の充実
- ・ 第2子以降の保育料・高校授業料の無償化や県内大学等の授業料減免など第2子以降を支援する”**複育**” 応援 など

◆ 子育てで広げる幸せの輪づくり

- ・ 市民主体のこども・子育て応援イベントを“つなぐ”情報発信の応援や子育てに関する**ポジティブキャンペーン**の展開
- ・ 天候にかかわらずこどもたちがいつでも楽しめる**全天候型遊び場**の整備推進
- ・ **プレコンセプションケア**からスタートする「**ゆりかごから巣立ちまで**」の切れ目ない支援の推進
- ・ 心身のケアや育児のサポートを行う**産後ケア**の充実
- ・ 子育て支援策や母子保健等に関する情報の集約・発信アプリなど**子育て支援DX**の推進
- ・ 福井県児童科学館の「**ふく育県**」シンボルとしてのあり方を検討
- ・ 親子のふれあいや親学びを通して**家庭の教育力向上**を支援
- ・ 結婚を希望する方への**恋愛から結婚までの**切れ目ない支援 など

基本戦略Ⅳ 進学・就職・移住の「多様な選択肢」の拡充

◆ ふるさとで描く学びとキャリアの道づくり

- ・ DXを活用した**進学・就職後**も福井県の情報に触れる**プラットフォーム**の構築
- ・ **新たな入試枠・教育プログラムの創設**などによる県内進学・県内就職応援
- ・ 6学部6キャンパスの特性を活かした地域連携による**県立大学の魅力向上**
- ・ 県内外の大学と県内企業等との**つながり強化**による県内就職応援
- ・ **北陸三県一体**となったUIターン就活支援
- ・ UIターン者の受け皿となる**企業の誘致**
- ・ UIターン者の**起業**を支援 など

◆ 移住者と福井を結ぶサポートづくり

- ・ 仕事をしつつ地域ならではの保育や教育、生活を体験できる**ふく育県留学**の推進
- ・ 新社会人のキャリア相談、転職相談対応など**移住相談機会**の拡充
- ・ ふるさと福井移住定住促進機構による移住・就職の**マッチング支援**
- ・ **移住サポーター**による移住・定着支援
- ・ 移住者と地域住民との**交流促進**
- ・ 伴走支援とネットワーク強化による**地域おこし協力隊**の採用拡大、定着支援
- ・ 移住支援金等の**経済支援**の充実・強化
- ・ 新幹線開業を追い風に**沿線県**や**北陸三県連携**による移住イベントを展開 など

■福井坂井地域〔構成市町〕福井市、あわら市、坂井市、永平寺町

I 将来イメージ（2040年頃）

- ・福井を代表する観光資源が集積する歴史と自然が調和したにぎわいエリア
- ・革新的な技術や製品を生む未来産業創造エリア
- ・県立大学や園芸カレッジ等による人材育成と、新たな価値を生み出す食と農のプラットフォームエリア
- ・県民や観光客にとって新たな移動手段が実現する先端交通エリア

II 施策の方向性（2025～2029年度）

（1）観光拠点の整備とまちづくり

- ・福井駅前南通り地区再開発や民設民営のアリーナ整備などにより、県都のにぎわいづくりを推進
- ・東尋坊における観光拠点の整備など、地域の歴史や自然を活かした観光施設等の整備を推進

（2）産業の活力創造

- ・北陸自動車道 福井インターチェンジ至近に大規模な県営産業団地を整備し、新たな企業を誘致
- ・福井駅周辺にキャンパスを置く福井県立大学「地域政策学部（仮）」を開設し、地域の課題解決に取り組む人材を育成

（3）地域産業とくらしの安全を支える基盤整備

- ・福井港へのアクセス向上や地域間の交通円滑化のため、福井港丸岡インター連絡道路などの整備により、東西および南北の道路交通ネットワークを強化
- ・新たな時代のニーズに適合する航空拠点を目指し、機能強化や空港ビルの再整備を推進

■奥越地域〔構成市町〕大野市、勝山市

I 将来イメージ（2040年頃）

- ・日本一の星空にも選ばれた六呂師高原など、ほんものの大自然を体感するエリア
- ・福井と中京を結ぶ「東西交流軸」の拠点として、新たに人や企業が集まり交流する新産業集積エリア
- ・中世宗教都市の歴史を感じる白山平泉寺など、奥越前の歴史遺産ブランドエリア
- ・農林水産業の振興と6次産業化によるにぎわいと活力の里地里山ビジネスエリア

II 施策の方向性（2025～2029年度）

（1）観光拠点の整備とまちづくり

- ・かつやま恐竜の森（長尾山総合公園）の再整備や恐竜博物館の魅力向上に加え、福井県立大学「恐竜学部」の開設により、恐竜ブランドを強化
- ・アウトドアを軸とした六呂師高原の再開発など、地域の歴史や自然を活かした観光施設等の整備を推進

（2）産業の活力創造

- ・里いも、まいたけなど、地域特産物のブランド力を強化
- ・本県の東の玄関口としての立地環境を活かし、大野市富田産業団地などに新たな企業を誘致

（3）地域産業とくらしの安全を支える基盤整備

- ・中京と福井を結ぶ東西軸の新たな玄関口となり、交流人口増加、企業立地促進、安全・安心の確保に重要な役割を担う中部縦貫自動車道の整備を促進

■丹南地域〔構成市町〕鯖江市、越前市、池田町、南越前町、越前町

I 将来イメージ（2040年頃）

- ・伝統工芸や地場産業、ハイテク産業が集積し、伝統と革新が融合する最先端のものづくりエリア
- ・移住者、女性、外国人など様々な人たちが共生しチャレンジするエリア
- ・北国街道の今庄宿など、行き交う歴史や自然が魅力の街道新交流エリア
- ・伝統工芸体験など、地域の営みを楽しむ新たな「しごとと暮らし」の観光エリア

II 施策の方向性（2025～2029年度）

（1）観光拠点の整備とまちづくり

- ・北陸新幹線越前たけふ駅周辺への「越前たけふ未来創造基地（仮称）」の整備を推進
- ・眼鏡をテーマとしたまちなみ整備や道の駅「越前」の改修など、地域の歴史や自然を活かした観光施設等の整備を推進

（2）産業の活力創造

- ・伝統工芸産地の工房見学や制作体験等職人との交流や産地の暮らし、工芸品の魅力を体感できる産業観光の充実化により誘客を推進
- ・IT関連企業のサテライトオフィス誘致などを進め、魅力ある仕事や働き方を創出

（3）地域産業とくらしの安全を支える基盤整備

- ・頻発・激甚化する自然災害から県民の生命や財産を守り、将来にわたり安全で活力のある地域をつくるため、国道8号の強靱化や足羽川ダム、吉野瀬川ダムの建設など、災害に強い基盤整備を推進

■嶺南地域〔構成市町〕敦賀市、小浜市、美浜町、高浜町、おおい町、若狭町

I 将来イメージ（2040年頃）

- ・創造的に働きながら文化的・健康的に過ごせるくらしの先進地「WAKASARIフレッシュエリア」
- ・人や企業が集まる嶺南Eコーストエリア
- ・嶺南の自然と歴史を楽しむインバウンドリゾートエリア
- ・伝統芸能・祭り、寺社仏閣などを学び、交流する伝統文化を学び体感するエリア

II 施策の方向性（2025～2029年度）

（1）観光拠点の整備とまちづくり

- ・北陸新幹線敦賀以西の延伸を見据え、宿泊機能付きレストランの整備など、宿泊・飲食施設の整備を推進
- ・金ヶ崎周辺の魅力向上や若狭湾サイクリングルートの整備など、地域の歴史や自然を活かした観光施設等の整備を推進

（2）産業の活力創造

- ・原子力リサイクルビジネスの実現に向けて新会社を設立するとともに、「もんじゅ」サイトに整備される新試験研究炉の利活用を促進することなどにより、人・企業・技術・資金が集まるエリアを形成
- ・小浜市に大規模な県営産業団地を整備し、新たな企業を誘致

（3）地域産業とくらしの安全を支える基盤整備

- ・取扱貨物量の増加が見込まれる敦賀港鞠山南地区の整備などにより、「複合一貫輸送ターミナル」としての機能を強化し、敦賀港の利用拡大を推進
- ・関西圏からの玄関口であり、交流人口増加、企業立地促進、安全・安心の確保に重要な役割を担う舞鶴若狭自動車道の4車線化を促進

別 添 参 考

■ 長期ビジョン推進懇話会（委員：有識者等 17名）

6月 3日（月）

- <第1回> 議題：①現・長期ビジョン実行プランおよび第2期ふくい創生・人口減少対策戦略の進捗
②国内・県内の環境変化・見通し
③次期計画策定に向けた今後のスケジュール



（第1回長期ビジョン推進懇話会）

8月22日（木）

- <第2回> 議題：次期「長期ビジョン実行プラン」および「ふくい創生・人口減少対策戦略」の検討状況について



（第2回長期ビジョン推進懇話会）

■ アンケート

- <県民アンケート> 調査期間：令和6年7月5日～7月26日（郵送による調査票回収およびWEB）
調査対象：県内に居住する満18歳以上の3, 184人
回答者数：1, 710人（有効回答率53. 7%）
- <県外アンケート> 調査期間：令和6年6月18日～7月14日（WEBアンケート）
調査対象：福井県での居住経験がある県外在住者
回答者数：117人
- <その他> 調査期間：令和6年10月12日～10月13日（WEBアンケート）
調査対象：福井県立大学白檉祭来訪者（学生・一般参加）
回答者数：81人

これまでの意見交換会等の実施状況（つづき）



■ 次世代応援意見交換会（カテゴリー別に参加者を募って実施）

7月 4日（木）	県外転出者	5名
8月 3日（土）	未婚女性	9名
8月 8日（木）	県外からの移住者	11名
8月16日（金）	既婚女性	4名
8月18日（日）	兼業・副業者	9名
8月28日（水）	県外転出者	6名
9月 1日（日）	既婚女性	5名
9月 3日（火）	未婚女性	3名
10月 3日（木）	移住関係者	4名
10月 4日（金）	事業承継関係者	10名
10月 6日（日）	文化振興関係者	9名
10月 9日（水）	移住関係者	4名
10月16日（水）	起業関係者	8名
【計 87名】		



（若年女性）



（県外からの移住者・学生）



（県外からの移住者・社会人）

■ 分野別意見交換会（各分野の現場で活動している方々と意見交換）

産業・労働分野 538名
農林水産分野 646名
まちづくり・観光・文化スポーツ・交通分野 1,204名
結婚・子育て・県民活躍分野 8,731名

医療・健康・介護・福祉分野 4,684名
防災・環境分野 793名
教育分野 7,351名

【計23,947名】

これまでの意見交換会等の実施状況（つづき）



■ 市町別意見交換会

8月 2日（金）	福井市	18名
8月 6日（火）	南越前町	11名
8月19日（月）	敦賀市	17名
8月20日（火）	大野市	14名
8月23日（金）	越前町	13名
8月27日（火）	若狭町	13名
8月30日（金）	池田町	17名
9月 2日（月）	おい町	17名
9月12日（木）	小浜市	12名
9月18日（水）	高浜町	16名
9月20日（金）	坂井市	14名
9月25日（水）	あわら市	7名
10月24日（木）	勝山市	8名
10月29日（火）	越前市	10名
10月30日（水）	永平寺町	10名
11月 6日（水）	鯖江市	11名
11月29日（金）	美浜町（予定）	
【計 208名】		

■ 出前講座

（学校や企業におけるワークショップ等）

5月24日（金）	北陸高校	9名
7月 8日（月）	大原学園	261名
7月17日（水）	羽水高校	27名
7月22日（月）	県庁見学	40名
8月19日（月）	インターン	129名
9月 4日（水）	美浜町内小学生	52名
9月13日（金）	福井大学	57名
10月31日（木）	武生第一中学校	180名
【計 755名】		



（7/8 大原学園）



（10/31 武生第一中学校）



（8/2 福井市）



（8/20 大野市）



（9/2 おおい町）

これまでの意見交換会等の実施状況（つづき）



■ 長期ビジョンに関するセミナー（各分野の専門家等による公開セミナー）

- 6月 3日（月） <第1回> 講 師：株式会社LIFULL LIFULL HOME' S総研所長 島原 万丈氏
テーマ：地方創生の希望格差
参加者：129名
- 7月12日（金） <第2回> 講 師：デロイトトーマツグループ コンサルティティブビジネスリーダー 長川 知太郎氏ほか
テーマ：誰もが主役のふくい
～多様な個性を大事にし、みんなが自分らしく輝く～
参加者：55名
- 9月19日（木） <第3回> 講 師：経済産業省製造産業局自動車課 モビリティDX室長 伊藤 建氏
テーマ：モビリティDXと交通の未来
参加者：70名
- 11月 8日（金） <第4回> 講 師：（一財）日本総合研究所 理事長 松岡 斉氏
テーマ：幸福度ランキングから見える福井の未来
参加者：68名



（第1回セミナー）



（第2回セミナー）



（第3回セミナー）



（第4回セミナー）